

第6回大阪の小児在宅医療を考える会プログラム

- ・開催日時：2016年1月17日（日）10:00-16:30
- ・開催場所：大阪市立総合医療センター さくらホール
- ・テーマ：「小児の地域包括ケアの構築を目指して」－医療と福祉の連携
“医療従事者はもっと重症児のための地域の福祉支援を知ろう！”

- ・開会あいさつ（10:00-10:05）

船戸 正久（当番会長 **大阪発達総合療育センター副センター長**）

足立百合奈（大阪府健康医療部保健医療室地域保健課）

1. 講演（45分）（10:05-10:50）

座長：船戸正久（大阪発達総合療育センター副センター長）

「知ってみよう、重症児者を支える総合支援法の世界」

（ベルディさかい施設長、児玉和夫氏）

2. 指定演題（各15-20分）（10:55-11:40）

座長：鈴木保宏（大阪府立母子保健総合医療センター患者支援センター）

1) 病院での在宅移行支援（高槻病院副院長、南宏尚氏）

2) 療育施設での在宅移行支援

（大阪発達総合療育センター訪問診療科部長、和田浩氏）

3. 報告（各5-10分）（11:45-12:15）

座長：位田忍（大阪府立母子保健総合医療センター患者支援センター）

1) 大阪府と府医師会の取組み「シミュレーション人形を使った医療的ケア研修」

（大阪府医師会理事 藤森次勝氏）

2) 大阪市教育委員会の取組み「介護タクシーを利用した気管切開児の通学支援」

（大阪市教育委員会指導部主任指導主事、平岡昌樹氏）

3) 大阪市立大学の取組み「重症児の在宅支援を担う専門職養成のための
インテンシブコース」

（大阪市立大学小児科教授、新宅治夫氏）

（昼食）

4. シンポジウム (各10分) (13:15-14:15)
「知っていますか、重症児のための地域での福祉支援」
座長：大谷悟 (大阪体育大学健康福祉学部教授)
- 1) 知ってみよう、児童発達支援センターまたは生活介護事業所の働き
(今川学園キンダーハイム施設長、北畠正寛氏)
 - 2) 知ってみよう、ショートステイの働き
(多機能型施設ばあばのおうち代表、小畑由美子氏)
 - 3) 知ってみよう、医療的ケア対応の居宅(訪問)介護の働き
(有限会社しえあーど管理者代行、達美奈氏)
 - 4) 知ってみよう、相談支援事業所の働き
(相談支援事業所ていんがーら管理者、森統一氏)
5. 一般演題 (各発表6分、質疑3分) (14:15-15:15)
座長：最上友紀子 (大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科)
下田公子 (淀川キリスト教病院医療社会事業課)

地域の在宅支援に関する演題を大募集！
現場で困っていることなど、是非発表して下さい。

6. ロールプレイ (50分) (15:20-16:15)
「在宅移行後の支援」(企画担当：塩見夏子・望月成隆・春本常雄氏)
総合司会：望月成隆 (大阪府立母子保健総合医療センター新生児科)
解説：春本常雄 (東大阪生協病院小児科)
- ・閉会あいさつ (16:20-16:30)
榮木 教子 (大阪府訪問看護ステーション協会)
中尾 正俊 (大阪府医師会副会長)

第6回大阪の小児在宅医療を考える会 一般演題募集します。

地域の在宅支援に関する演題を大募集！します。現場で困っていることなど、小児の在宅医療に関する幅広い演題を是非発表して下さい。申し込み方法は下記に示します。

記

第6回大阪の小児在宅医療を考える会

テーマ：「小児の地域包括ケアの構築を目指して」－医療と福祉の連携

“医療従事者はもっと重症児のための地域の福祉支援を知ろう！”

会期：2016年1月17日(日) 10:00-16:30

開催場所：大阪市立総合医療センター さくらホール

演題応募方法：演題名、演者名、所属、抄録(200字程度 400字以内、検討項目を最後に入れてください)

演題応募先メールアドレス：kangaeru@mch.pref.osaka.jp

事務局位田忍まで上記メールアドレスにご連絡ください。

締切：12月25日(金)とさせていただきます。